



本誌は、学校経営・運営ビジョンの実施状況や達成結果を保護者や関係者の方に公表することを目的として、本校が発行する通信誌です。

学校評価アンケート集計結果報告

保護者の皆様には、昨年11月に実施しました「令和3年度学校評価アンケート」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。今回は保護者・生徒・教員アンケートの集計結果の要点をご報告いたします。なお、本誌裏面には保護者・生徒・教員対象アンケートの集計表も掲載しましたので、あわせてご覧ください。

1 保護者対象アンケート結果の分析

・年度末の全体概況

全体平均値は2.0であり、最高値1.7～最低値2.1といった結果で、アンケート全19項目が概ね良好であったと分析できる。ただし、学校内部にかかる項目もいくつかあり空欄(未記入)による回答が見られるので、次年度以降の検討課題である。

・各項目の概況

保護者アンケートでは、評価2.0以下の項目は18項目となっており、多くの項目で教育課程の改善(総合的な探究の時間の実施など)、国際理解教育の推進、希望進路実現に向けた指導などの各部・各学年・各教科の取組が理解・認知され、評価につながっていると考えられる。本校の教育活動が徐々に浸透しつつあると思われる。一方で、信頼される開かれた学校の項目で低い評価がみられた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少なからずあり、コロナ禍における行事の持ち方やあり方、指導方法について関係各署と協議しながら対策を講じたい。また、学校の取組について積極的に情報発信の機会を増やしていくとともに保護者からの意見を真摯に受け止め、さらに改善を図っていききたい。

2 生徒対象アンケート結果の分析

・年度末の全体概況

全体平均値は1.9であった。概ね良好な評価と分析できる。各項目では全19項目中9項目で1.9以下の評価となって現れた。生徒にとっては学校や教員の目標設定の意図が伝わりにくい点があるが、各学年・各部・各教科の継続した指導や日頃から目標や目標値を明確にし、取り組んだ成果が現れてきたと思われる。今後も伸ばしていきたい。

・各項目の概況

生徒アンケートでは、全19項目中9項目で1.9以下の評価となった。一番評価の高かったものは項目「7」で評価1.5であった。本年度から全校生徒及び全職員がSDGsに意識的に取り組むためにSDGs dayやSDGs weekを設定するとともに、国際交流委員会や生徒有志などの団体が様々なSDGsの実践となる活動を行っている。生徒たちもこのことを実感しており、高い評価に繋がったものと考えられる。次いで項目「1」が評価1.7、項目「8」が評価1.8と続いた。昨年度の2学年から総合的な探究の時間が実施され2年目を迎えることで活動を軌道に乗せることができ、生徒たちの主体的な活動となってきているものと思われる。

一方、一番評価の低かったものは、項目「5」の評価2.2であった。ICTの効果的な活用については、今年度の後期に教員の研修が行われ、設備の面でも順次充実が図られているところである。今後は、ICT活用ワーキンググループを中心にICT活用に関する校内体制をさらに整備していきたい。二番目に評価の低かったものは、項目「4」の評価2.1であった。この項目は教員アンケートでも評価の低いものであったが、新教育課程の根幹であるので、各教科・科目、総合的な探究の時間、学校行事等教育活動全体を効果的に連携させることで、生徒が真の学力をつけていくことに寄与していきたい。

3 教員対象アンケート結果の分析

・年度末の全体概況及び中間評価との比較

年度末の全体平均値は2.0であったが、今年度中間アンケートの数値よりも0.1ポイント上昇した。全体として概ね良好な評価と判断できる。個々の項目については、今後も反省・分析を継続していきたい。

・各項目の概況及び中間評価との比較

アンケート19項目のうち、中間評価より評価が上がったものは9項目、下がったものは5項目であった。一番評価の高かったものは項目「1」・「13」で評価1.7、次いで項目「7」が評価1.8である。それぞれ、国際部・進路指導部に係わる項目であり、両部署がある一定の満足いく取組ができたものと分析できる。一方、一番評価の低かったものは項目「4」で評価2.3であり、中間評価比で0.1ポイント低下した。この項目は新教育課程の根幹であるため、職員間で共通理解のもと実践を行いながら改善を図っていかなくてはならない。19項目中、評価が2.0以上の項目(2.0を含む)は13項目となっている。今後とも関係部署と反省するとともに、評議員の方々から忌憚のない意見を頂き、改善に向けて継続的な取組を検討していきたい。

*なお、アンケートに際し、保護者の皆様、生徒からよりよい学校づくりのための様々なご意見をいただきました。今後とも貴重なご意見を真摯に受け止め次年度以降の学校づくりや生徒指導に活かしていくとともに、より充実した学校評価活動を行って参りたいと存じます。